

東亜合成グループの概要

当社は1944年(昭和19年)7月17日の創立以来、わが国の化学産業の発展とともに成長し続けてきました。
当社グループは、基幹化学品、ポリマー・オリゴマー、接着材料、高機能材料、樹脂加工製品の事業領域で、独自の強みを発揮し、技術と製品の領域を拡大しています。

JAPAN

東亜合成株式会社

本社／大阪支店／名古屋支店
四国営業所／福岡営業所
名古屋工場／横浜工場
高岡工場／徳島工場／坂出工場
大分工場／川崎工場／広野工場
R&D 総合センター
先端科学研究所／高岡創造ラボ
東京テクノ・ラボ



主な関係会社

- | | |
|--------------------|------------------|
| ■ 東亜テクノガス株式会社 | ■ アロン化成株式会社 |
| ■ MTエチレンカーボネート株式会社 | ■ 株式会社TGコーポレーション |
| ■ MTアクアポリマー株式会社 | ■ 東亜ビジネスアソシエ株式会社 |
| ■ アロン包装株式会社 | ■ 東亜興業株式会社 |
| ■ 東亜建装株式会社 | ■ 東亜物流株式会社 |



アロン化成ものづくりセンター

会社概要

創 立 1944年7月17日
本 社 所 在 地 東京都港区西新橋一丁目14番1号
代表取締役社長 高村 美己志
資 本 金 20,886百万円
従 業 員 数 2,517名(連結)(2022年12月31日現在)
決 算 日 12月31日
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
証 券 コ ー ド 4045

主要な事業内容

- 基幹化学品事業
- ポリマー・オリゴマー事業
- 接着材料事業
- 高機能材料事業
- 樹脂加工製品事業
- その他事業

ASIA

中国

- Toagosei Hong Kong Limited
- 東亜合成(珠海)有限公司
- 東亜合成(張家港)新科技有限公司
- 東亜合成(上海)企業管理有限公司

台湾

- 台湾東亜合成股份有限公司
- 東昌化学股份有限公司

韓国

- 東亜合成 KOREA 株式会社

シンガポール

- Toagosei Singapore Pte Ltd.

タイ

- Toagosei(Thailand) Co., Ltd.
- Aronkasei(Thailand) Co., Ltd.

トウアゴウセイ・タイランド
アロンカセイ・タイランド

シンボルマークについて

TOAの“T”とGOSEIの“G”をモチーフにしました。特に“T”を強調することによって「TRUST(信頼)」
「TECHNOLOGY(技術)」を表現。信頼と技術を基盤に、豊かな想像力を発揮していこうという当社の姿
勢を象徴化しました。また“T”のエレメントは「力」、「G」のループは「感性」、3つの円はそれらの融合が生
み出す新しい可能性を表しています。



AMERICA

アメリカ

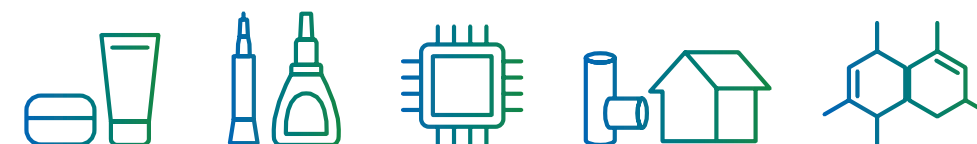
- Toagosei America Inc.
- Elmer's & Toagosei Co.



トウアゴウセイ・アメリカ

社会を支える東亜合成グループの製品

毎日の生活に様々な当社グループの製品が使用されており、快適な生活や環境保全に貢献しています。



ポリマー・オリゴマー

P34

ポリマー

● アクリルポリマー

分散や増粘など多彩な機能を有する製品を取り揃え、医薬・化粧品やトイレタリー製品など様々な分野で使用されています。



● 高分子凝集剤「アロンフロック」

污水处理用の薬剤で、下水処理場はもちろん、製紙、食品加工といった工場排水の分野でも幅広く使用されています。



オリゴマー

● 光硬化型樹脂「アロニックス」

塗料やインキ、接着剤から電子材料まで、様々な分野で使用されています。有機溶剤を使用しない、環境に配慮した製品です。



接着材料

P36

● 瞬間接着剤「アロンアルファ」

幅広い品揃えでお客様の多様なニーズにお応えする瞬間接着剤のトップブランドです。有機溶剤を含まない、環境に配慮した接着剤です。



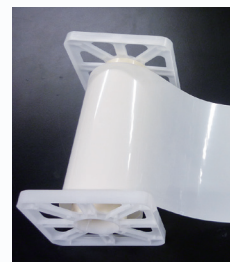
● 機能性接着剤

産業用として反応型、ホットメルト型、光硬化型など各種接着剤を幅広く取り揃えています。自動車部材や電子部材の組立て等で幅広く使用されています。



● 低誘電性ボンディングフィルム

フィルムタイプの変性エポキシ系接着剤で優れた誘電特性を持ち、5Gに対応した大容量高速通信用の機材で使用されます。

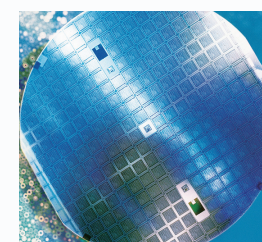


高機能材料

P38

● 高純度無機化学品

シリコンウエハーや半導体の製造などに使われる液化塩化水素をはじめ先端分野で不可欠な製品です。



● 無機系消臭剤「ケスモン」

トイレタリー、衣類、自動車室内等多様なシーンで消臭機能を発揮します。化学反応により臭い成分を吸着するため、悪臭の再放出を防ぎます。



● セルロースナノファイバー「アロンフィブロ」

当社は独自の製法で容易にナノ化可能な酸化セルロースを開発しました。脱炭素化社会の実現に貢献する素材として注目されています。



樹脂加工製品

P40

● 介護用品「安寿」

高齢化社会に対応し、介護の現場や日常生活に適した製品開発を行い、豊かで快適な暮らしの実現に貢献しています。



● エラストマー

ゴムに近い弾性を持ち、汎用プラスチック並みの容易さで成形できる素材の特徴から、様々な製品となって暮らしのシーンを彩っています。



● 建材製品

アクリルゴムでできた塗膜防水材料で屋根や外壁を雨水の浸入から守り、建物の長寿命化とトータルメンテナンスに貢献しています。

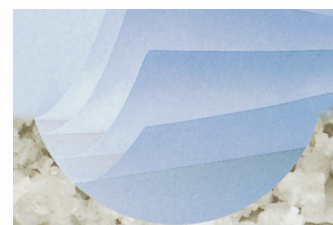


基幹化学品

P32

● カセイソーダ

産業における基礎的な原材料として、化学繊維、紙・パルプ、化学薬品など様々な用途に幅広く使用されています。



● 次亜塩素酸ソーダ

上下水道やプールの滅菌などに使用され、不純物である塩素酸や臭素酸を抑えた製品で安心、安全な水の提供を支えています。



● アクリルモノマー

アクリル酸は吸水性樹脂や凝集剤に、アクリル酸エステルはテープなどの粘着剤や塗料基材として使用されています。



● 工業用ガス

酸素、窒素、アルゴンなど多種にわたる産業ガスを取り扱っています。これらの製品は、鉄鋼・化学工業などの基幹産業から半導体製造や医療分野などの先端産業まで幅広いニーズに対応しています。



● 塩化ビニル製パイプ、マス、マンホール蓋

街のあらゆる施設の排水に効果的な管路システムを提案し、暮らしを支えるライフライン構築に貢献しています。



東亜合成グループ 価値創造の軌跡

当社グループは社会がめまぐるしく変化する中で、必要とされる価値を化学の力で創造してきました。

時代のニーズに合わせた製品を提供することで、確固たる技術力と製品への信頼を培っています。これらを価値創造の基盤として、これからも社会の期待に応える新製品・新技術を開発し、企業価値の向上に努めています。

第1期 (1910年～)

基礎化学製品 発展期

産業の基礎素材となる電解製品や食糧増産のための肥料が化学工業の主流を占める中、基礎化学製品を主力に事業を展開しました。

価値創造のポイント

- 戦後復興の基礎となる製品の供給
- 基礎化学製品の安定供給



名古屋工場(当時)

第2期 (1960年～)

石油化学製品 発展期

電解製品に加え、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、塩素系有機溶剤など、石油化学製品の事業展開を進めました。

価値創造のポイント

- 高度成長期に合わせた原材料の供給
- 汎用石油化学製品の生産開始



徳島工場(当時)

第3期 (1970年～)

機能製品 発展期

石油危機による大量生産品の不振などの難局を乗り越え、景気変動に左右されにくい企業体質をつくり出すべく、独自の技術を生かした機能製品を主力製品として育成しました。

価値創造のポイント

- 汎用製品から高機能製品への進出
- アメリカを皮切りに海外進出



先端科学研究所

第4期

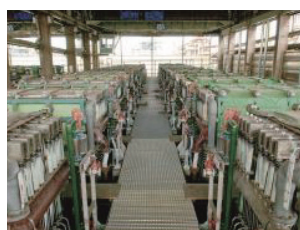
ESG / SDGs の時代にふさわしい第4の柱となる製品群の開発

価値創造のポイント

- 高付加価値製品事業の拡大
- 新ビジネスユニットの創出



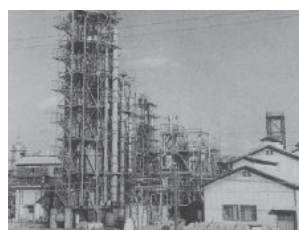
高岡創造ラボ



電解工場



カセイソーダの船出荷(当時)



アクリル酸エステル製造設備(当時)



アクリル酸製造設備



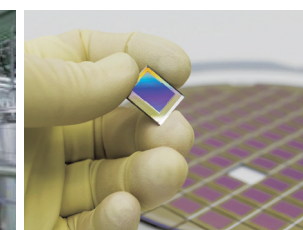
アロニックス製造設備



家庭用アロンアルファ



リチウムイオン電池用ポリマー工場



半導体製造用薬剤

主力製品

カセイソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ

主力製品

アクリル酸メチルエステル、アクリル酸エチルエステル

主力製品

アロンアルファ、アクリルポリマー、アロニックス、無機抗菌剤

注力分野

モビリティ、メディカルケア、半導体・電子材料、セルロースナノファイバー